別紙１（新分野等チャレンジ支援事業）

事業実施計画書

１　　資本金の額以外については県内における状況を記載してください。

（１）名称

（２）業種

（３）所在地

（４）資本金の額　申請時点又は直近決算期の払込資本金又は出資金額を記載してください。

（５）従業員数　常時使用する従業員の数を記載してください。

（６）事業の内容

（ⅰ）事業内容　　　　現在営んでいる主な事業及び主たる生産品目名、年間生産額等を事業所毎に記載してください。

（ⅱ）商品等の特徴、自社の強み

（ⅲ）現在の課題　　　自社が掲げる経営理念やビジョン（実現したい未来やあるべき姿）と現状にギャップが生じている際にその差を埋めるために行うべきこと（例：収益性の向上、技術力の強化）を記載してください。

（７）申請者の略歴　　　企業の沿革を記載してください。

（８）事業担当者の連絡先

イ　事業担当者の職・氏名

ロ　電話番号

ハ　メールアドレス

２　事業の説明

（１）事 業 名　交付申請書と同じ事業名を記載してください。

（２）事業の背景・目的とその市場性・成長性

　　イ　背景・目的

 　　　 なぜこの事業を実施しようとするのか、その目的・背景等について、自社の直面する課題を整理したうえで記載してください。

　　ロ　市場性・成長性

　　　 この事業に関する市場規模はどういう状況なのか、その市場の拡大は見込めるのか、競合商品等と比較して優位性が明確であるか、消費者・社会的ニーズ等の背景から新商品や新サービスが必要と認められるか等について記載してください。

（３）事業の内容及び方法とその新規性・革新性、妥当性及び実現可能性

　　イ　内容及び方法

事業の内容や方法、目標等を詳細に記載してください。

事業を実施し、事業化するに当たって関係すると思われる知的財産権（他が所有するものも含む。）があれば記載してください。また、類似又は関連する取組が他で行われていることが知られている場合は、当該取組との相違点を記載してください。

ロ　新規性・革新性

　　 この事業のどういうところが既存の商品等と比較して革新的なのかについて記載してください。

　　ハ　妥当性

この事業が、自社の課題の解決方法として妥当性を有するか（課題の解決方法として論理的であり矛盾や飛躍がないか。申請事業の実施によって期待する事業成果が得られ課題の解決につながると考えられるか）について記載してください。

　　ニ　実現可能性

　　 この事業の実現に向けた見通しを記載してください（技術課題に対する解決方法など）。

（４）現在までの準備状況

　　 この事業を成功させるため現在までにどのような準備をしているのかについて記載してください。

３　事業の実施体制　県内における状況を記載してください。

（１）事業担当者並びに事業の経理担当者の職・氏名

　　イ　事業担当者　職・氏名

　　　　　　　　　　　同略歴

　　ロ　経理担当者　職・氏名

（２）事業担当者以外の担当者の職・氏名

（３）他からの指導者又は協力者

　　 事業を遂行するにあたり、他からの指導者又は協力者がある場合は、その指導者又は協力者の所属、氏名、職名並びに指導又は協力を受ける事項を記載してください。なお、「指導者」とは有償で技術の提供を行う者を、「協力者」とは無償で助言等を行う者とします。

４　推進日程計画（記載例）



５　成果を利用した事業化計画と地域活性化への波及効果

　　イ　事業化計画

成果を活用して今後どのように事業展開していくのかを記載してください。（商品を生　産若しくは販売し、又はサービスを提供するために必要となる人材・設備・販売先・販売方法・広告宣伝の計画など）

　　ロ　売上目標額　　事業完了後において、今回の事業の成果を活用した商品又はサービスの販売等により見込まれる売上目標額を記載するとともに、その積算根拠を明らかにしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 売上目標額 | 積算根拠 |
| 年度 | 千円 |  |
| 年度 | 千円 |  |
| 年度 | 千円 |  |

　　ハ　地域活性化への波及効果

　　　　成果が県内産業の振興や新たな雇用創出にどのように繋がるのかについて記載してください。

６　事業実施に必要な予算　別表のとおり

７　申請した事業内容について、中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の香川県からの承認の有無

８　助成金の交付を受けた実績

　　この申請に関連して過去に交付を受けた助成金又は現在交付申請中の助成金があれば、その名称、交付主体、交付金額及び交付年月日を記載してください。

（注）作成が完了した時点で青字の注記は削除してください。